

商業・貿易・金融

卸売・小売業（事業所数、従業者数等）

平成26年7月1日現在の卸売業の事業所数は3,526事業所、従業者数は2万5,611人、年間商品販売額は1兆7,222億円となっています。

また、卸売業の従業者数を業種別にみても、飲食料品卸売業が7,654人（構成比29.9%）で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は、1万2,997事業所、従業者数が8万8,534人、年間商品販売額は1兆7,495億円となっています。

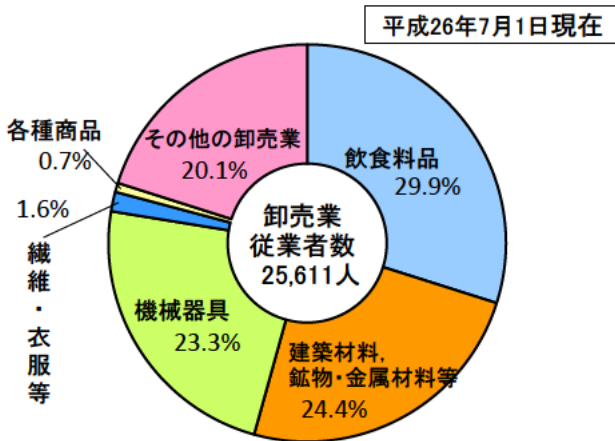
また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が31,161人（構成比35.2%）で最も多くを占めています。

業種別年間商品販売額

平成25年の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は建築材料、鉱物・金属材料等卸売業4,636億円（構成比26.9%）で最も多く、次いで飲食料品卸売業4,634億円（構成比26.9%）、機械器具卸売業4,132億円（同24.0%）と続いています。

小売業は、飲食料品小売業が4,639億円で小売業年間商品販売額の26.5%を占めており、次いで機械器具小売業3,807億円（構成比21.8%）などとなっています。

図35 卸売業の従業者数の産業分類別構成



資料 県統計課「三重の商業」

図37 卸売・小売業の年間商品販売額の産業分類別構成

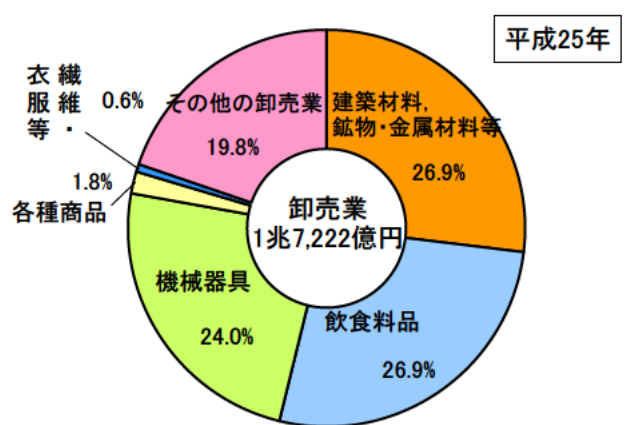
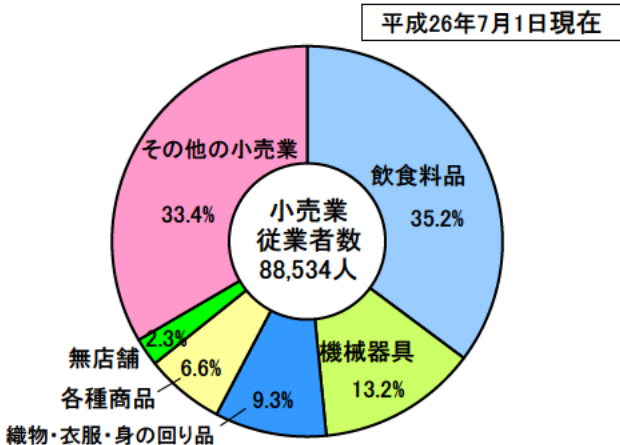
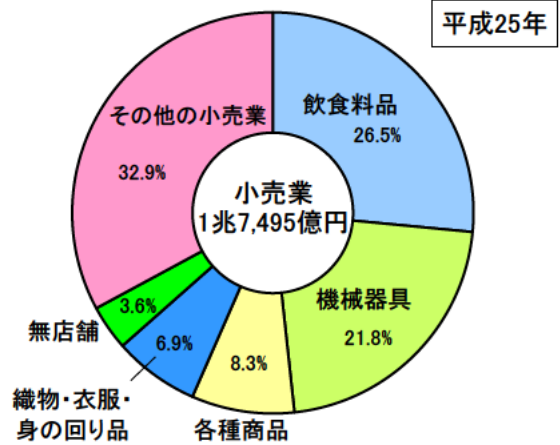


図36 小売業の従業者数の産業分類別構成



資料 県統計課「三重の商業」

平成25年



資料 県統計課「三重の商業」

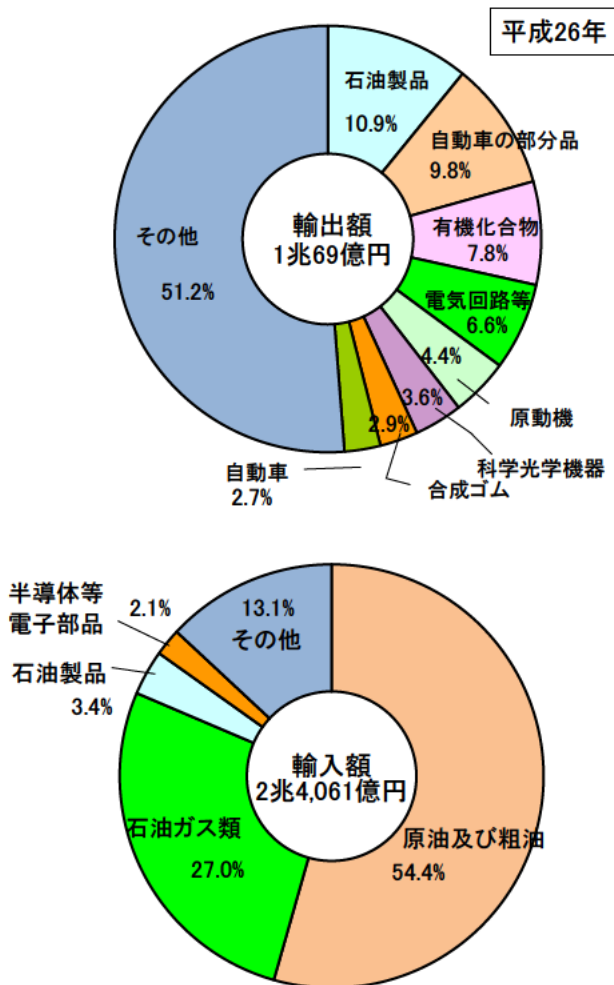
貿易

輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の平成26年の貿易状況をみると、輸出額は1兆69億円で前年に比べ328億円（3.2%）減少し、輸入額は2兆4,061億円で前年に比べ2,380億円（11.0%）増加しました。

品目別でみると、輸出は石油製品が1,095億円（構成比10.9%）で最も多く、自動車の部分品が983億円（同9.8%）、次いで有機化合物788億円（同7.8%）の順となっています。

輸入は原油及び粗油が1兆3,090億円（構成比54.4%）で最も多く、次いで石油ガス類が6,500億円（同27.0%）、石油製品が828億円（同3.4%）の順となっています。

図38 四日市港の品目別貿易状況



資料 名古屋税関「貿易年表」

金融

平成27年3月31日現在の預貯金残高（郵便貯金を除く）は、11兆6,616億円となり、前年に比べ2,404億円（2.1%）増加しました。貸出残高は、4兆8,093億円となり前年に比べ213億円（0.4%）増加しました。

平成27年の企業倒産件数は86件となり、前年に比べ5件（5.5%）減少しました。負債総額は365億円となり244億円（201.2%）増加しました。

図39 預貯金・貸出残高の推移

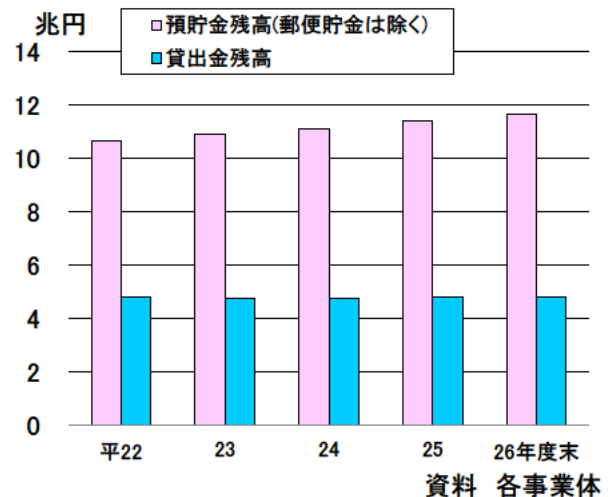


図40 企業倒産状況の推移

